



米産業活性化のための意見交換委員 (株)ファームフレッシュヤマザキ 山寄哲志さんが選ばれました!

生産者通信

(有)エコ・ライス新潟
定価 100円(送料込)



生産者通信3月号で山寄哲志さんをインタビューいたしました。山寄さんの酒「三条のかぜ」が醸しあがりまのでお楽しみにも!

「情報共有の場」始動

現物市場開設へ意見交換

農水省は25日、東京・霞が関で「コメ産業活性化のための意見交換会」の第1回会合を開催した。コメ現物市場検討の1環(情報共有の場)として、生産から消費までビジネスにかかわる事業者・団体が参集し、意見を交換。会合は、「川上と川下が互いに相手方のニーズ(需要)とシーズ(開発のもととなる技術など)や需給トレンドを踏まえ、コメ産業の活性化を図ることが目的」となる。初回は非公開とされた。

初回会合の議題は次の通りだった。①有識者による基調講演、事例紹介
②農水省から基調講演に關連する情報や前年産の販売状況などの提供③卸売業者・実需者の委員によるコメ・コメ加工品に関する情報提供④意見交換。

次の委員13氏とオブザーバー4人が参加している。

【委員】▽加藤純・全中 農政部長▽今野稔・木徳神糧(株)執行役員仕入業務部長▽佐藤博崇・伊藤忠食糧(株)米穀本部米穀第2営業部長▽妹尾次郎・千田みずほ(株)商品部長▽高橋文彦・(有)ライスサービスたかはし代表取締役▽辻朗・全集連理事・米穀販売部長▽人見洋介・(株)むらせ商品本部副本部長兼商品部長▽福原悠平・(有)フクハラファーム代表取締役▽藤井暁・全農米穀部次長▽藤城正興・(株)輝菜里常務取締役▽南章也・ホクレン米穀部長▽山寄哲志・(株)ファームフレッシュヤマザキ取締役▽吉田宏・わらべや日洋食品(株)購買部執行役員部長。

【オブザーバー】▽折等俊輔・流通経済研究所農業・環境・地域部門長・主席研究員▽齋藤達也・ウォーターセル(株)代表取締役社長▽濱田昌一・(株)日本農産情報取締役企画・広報部長▽山村淳・(株)クリスタルライス代表取締役社長。

2023年1月26日 「商経アドバイス」より

2030年の荷物「35%運べず」

2024年4月からトラック運転手の労働規制は拘束時間の制限が設けられるようになり、人手不足が懸念され、2030年に国内の荷物量の35%が運べなくなると予測されました。地域の割合で見ると高いのは東北(41%)、四国(40%)、九州と北海道(39%)になるそうです。都道府県別では、秋田県、青森県、高知県、長崎県が高いです。

人口密度の低い地域は離島のように、配送料が高くなったり、輸送の頻度が少なくなったりすることになりそうです。

朝日新聞より引用 (2023年1月21日)

都道府県	25年	30年	2030年に輸送能力が40%以上不足
青森	33%	44%	
岩手	31%	40%	
秋田	35%	46%	
山形	31%	41%	
福島	31%	41%	
奈良	32%	40%	
愛媛	31%	40%	
高知	33%	42%	
長崎	32%	42%	
鹿児島	32%	41%	